



高野支所市民生活室
保健師 峠 恵子

地域で子育てを応援しよう

子育て今昔物語

～認め合う昔と今の子育て～

今

妊娠中の約9割の女性が母乳で育てたいという考えを持ち、

煮沸消毒。熱湯をかけるのが消毒の主流。昔 昭和40年代は、育児用ミルクの方が母乳より栄養があるといわれ、育児用ミルクを飲ませる親が多くなりました。哺乳瓶は鍋でグラグラ

「母乳とミルク」

で、たくさん抱っこしてあげましょう。



昔

抱き癖がつくと自立が遅れ、甘えん坊になるので、抱っこしすぎないほうがよいと言われていました。

「抱き癖」



庄原市では年間で約230人の「命」が誕生しています。時代と共に子育ての考え方やあり方もずいぶんと変わってきていますが、子どもを愛し、大切に守り育てる気持ち、今も昔も変わらないものです。今回は、自信を持つて楽しみながら「子育て」「孫育て」をしていただければ、相談の多い内容を何点か紹介します。

卵は様子を見ながら与えます。詳しくは、保健師・栄養士にご相談ください。

今

5～6カ月ごろから開始。開始のタイミングは、スプーンなどを口に入れても舌で押し出すことが少なくなる(哺乳反射の減少)など、食べたがる子どものペースに合わせましょう。離乳の準備のために果汁をあげる必要はなく、消化機能の未熟な赤ちゃんはアレルギーなどの関係から牛乳や

昔

3～4カ月ごろから開始。開始のタイミングは食べ物を見たとき口を開ける、よだれがよく出る、体重が7キロ近くならなどといわれていました。果汁は、スプーンに慣らすための準備段階で2カ月ごろから与え、「離乳食のたんぱく質摂取は卵から」という考え方もありました。

「離乳食」



母乳育児支援などが行われています。母乳には免疫力を高め、母と赤ちゃんのきずなを深める効果があります。しかし、母乳の具合には個人差があり、母乳もミルクも栄養の面ではほとんど変わりありません。哺乳瓶の消毒は、浸すだけでよい消毒液から、電子レンジでチン！できるグッズもあります。

へん、尊い「いのち」を家族や地域で見守っていきましょう。

恵を孫に伝承し、孫からは元気をもらいます。孫は、親とは違う世代の大人との関わり方や社会性を学び、高齢者や他者への思いやりや優しさを学びます。

子育てに悩みはつきものです

「親になってから初めて、子どもを育てる大変さが分かりました」という言葉をよく耳にします。育児の方法は、時代の変化と共に多少変わってはきていますが、悩んだり、不安に思ったりすることに今も昔も変わりはありません。祖父母は人として生きることの知恵を孫に伝承し、孫からは元気をもらいます。

今

赤ちゃんには、昔の遊びのように自分で何かしないと遊べないおもちゃの方が適しています。最近は、手先を使うことが苦手な子どもも多く、手先を使う昔の遊びが注目されています。

昔

お手玉けん玉こまあや取り・折り紙など、自分の力で動かすものが主流でした。電池などで勝手に動いたり、音が出たりするものが多い。

「遊び」